

2025年度 第1回日本医療検査科学会 微生物検査・感染症委員会

議事録

開催日 2025/3/19 (火) 19時~19時50分

方法 Zoom

出席者： 中村 竜也、長尾 美紀、豊川 真弘、上簗 義典、中西 雅樹
河村 佳江、静野 健一、森下 奨太、佐々木 雅一、村上 忍
町田 弘樹、渡 智久、相原 正宗、上田 修、加来 治彦
渡邊 好紀、曾家 義博、瀬野 誠、後藤 裕一、大前 喜央
藤崎 桃子、片岡 純一

欠席者： 柳原 克紀、高橋 聡、波多 宏幸、大和久 正人

審議事項

1. 前回の審議事項進捗状況

中村委員長より、以下の点に関して説明がなされた。

- ・京都岡本記念病院の中西 雅樹先生と札幌医科大学病院の佐藤 勇樹先生が新たに委員メンバーとして参加することに関して、次期理事会の承認待ちの状況である。
- ・委員交代に関して：栄研化学株式会社の大前委員と藤崎委員が自社内の新規委員と交代となる。
- ・4月の春季セミナーで昨年のセミナー内容と次期セミナーの進捗状況を報告する。
- ・次期セミナーのテーマを「耐性菌の迅速検査」に決定とする。

2. 次回大会のセミナー内容について

各委員より寄せられた意見を以下に記す。

- ・講義で触れた耐性菌の選択培地やイムノクロマトキットを実際に見て、使用し学んでもらう
- ・検査システムのエキスパートルールで、各社どの様な結果が得られ、次のステップに進めるのかを説明する。
- ・会場一つで完結するようにし、移動がない形式にする。
- ・実技を参加型とし、症例を通じてディスカッションを行った流れで培地などを展示し、実際にみてもらう。
- ・迅速報告の体制について、どうやって報告していくか、治療につなげていくのかを講義内容に含める。

寄せられた意見の結果、初級編で各種耐性菌について触れ、中級・上級編として普段細菌に携わっていない方でも学びやすい MRSA と感染症法の届け出基準が変更となる CRE をテーマに絞り、それらに関連した培地やイムノクロマトキットを実際にみてもらう流れで、大枠が決定した。

各種セッションを 1 時間毎（計 3 時間）で想定し、供覧してもらった培地に関しては MRSA や CRE 以外も対象とするため、どのようなものがあればよいか、次回打ち合わせまでに各自検討してもらおう。選択培地の準備では企業の協力も必要となる。

今後詳細を詰めていき、6 月までに各種担当者を決定する方針である。